

単元名 豊かな表現を求めて

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 曲想と声部の役割など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部や全体の響き、伴奏を聴き、声や音を合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けることができる。
- (2) 旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかや演奏するかについて思いや意図をもつことができる
- (3) 曲の特徴を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

06070203_001

【教材名】明日を信じて（歌唱） L-O-V-E（器楽）（P.30～P.33）

【準備等】範唱CD、範奏CD、リコーダー、拡大譜、鍵盤ハーモニカ、木琴、ビブラフォーン、低音楽器（シンセサイザーなど）、小だいこ、シンバル、タンブリンなど

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～3 音楽の仕組みを生かして曲想を捉え、「明日を信じて」に合った表現を工夫して歌う。</p> <p>★せん律の動きや強弱を生かしながら表情豊かに歌い合わせよう</p> <p>○「明日を信じて」を聴き、学習課題をつかむ。</p> <p>○範唱CDを聴き、主旋律を聴唱法で歌う。</p> <p>・ア、イ、ウの部分ごとに分けて、確実に歌えるようにする。</p> <p>○歌詞の内容を捉えて歌う。</p> <p>・歌詞を朗読して抑揚を確かめる。</p> <p>・内容から、どんな気持ちで歌ったらよいのかについて話し合う。</p> <p>ア…自分がいるところ、気分 イ…自分が見ているもの、想像 ウ…風景を見て、自分が思ったこと など</p> <p>○旋律の流れを捉え、歌詞との関わりを生かして歌う。</p> <p>・アイウごとに旋律の特徴について考える。</p> <p>・歌詞との関わりについて考える。</p> <p>・歌詞と旋律の流れを生かして歌う。</p> <p>○下声部を捉え、二部合唱する。</p> <p>・各声部の旋律を確認する。</p> <p>・アイウごとに下声部の音を確認して下声部だけ歌う。</p> <p>・二部合唱する。</p> <p>○パートの関わり方を捉えて歌う。</p> <p>・アイウごとに、パートがどのように関わり合っているか考え、気付いたことを発表する。</p> <p>ア…同じ旋律を一緒に歌う イ…掛け合いながら盛り上がる ウ…ハーモニーで力強く歌う など</p> <p>○アイウの部分ごとに、どのように歌っていくか考えて歌う。</p> <p>ア…mf。音の動きが少ない。語り掛けるように歌う</p> <p>イ…mpから始まる。掛け合いながらウに向けて少しずつ盛り上がる。</p> <p>ウ…f。ハーモニーを重ねながら、力強く盛り上げる</p> <p>○「明日を信じて」を合唱する。</p> <p>・どのように歌ったらよいか、アイウごとにまとめる。</p> <p>4～6 スウィングのリズムを体で感じ、演奏する楽器を選択して「L-O-V-E」を演奏する。</p> <p>★楽器を選んでアンサンブルを楽しもう</p> <p>○範奏を聴き、曲想を捉える。</p>	<p>・語るように歌うところ、掛け合うところ、曲が盛り上がる場所の三つに曲想が分かれるところをつかませる。</p> <p>【共通事項】旋律</p> <p>・ダル・セーニョ、コーダなどの記号とともに演奏の順序を確認する。</p> <p>・フレーズ感を大切にして、楽曲の構成を確認しながら歌うと音を取りやすい。</p> <p>・小節の頭に休符が入ることが多いので、1拍目を手拍子でたたいたり、伴奏を聴かせたりさせて、リズムの取り方に気を付けさせる。</p> <p>・イの後半の1番と2番でリズムが変わるところを気を付けさせる。</p> <p>・16分音符に気付かせ、雑にならないように注意する。</p> <p>・強弱記号も参考にして、朗読させるとよい。</p> <p>・作者の伝えたいことと曲の盛り上がりを意識して、強弱を付けて歌わせる。</p> <p>【共通事項】強弱</p> <p>【発展】全休符</p> <p>・言葉を大切にするため、子音を意識して歌うようにする。</p> <p>【評】曲想と声部の役割など音楽の構造や、曲想と歌詞の内容とを関わらせながら歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <p>・休符、タイ、付点などに気を付けて、リズムがあいまいにならないようにさせる。</p> <p>・音が重なるところと同じ音を歌うところの音量のバランスに気を付けるようにさせる。</p> <p>【共通事項】音楽の縦と横の関係</p> <p>・拡大した楽譜を掲示し、加筆してもよい。</p> <p>【評】旋律の流れや声部同士の関わり、全体の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・曲を聴いてから、題名の意味やスウィングのリズムについて確認する。</p>

- ・体を揺らすなどしながら聴き、スウィングのリズムや曲の感じをつかむ。
 - ・繰り返しや曲の進み方について確認する。
 - ・アフタービート（打楽器のパートの小太鼓のリズム）で手拍子したり、体を揺らしたりしながら聴く。
- イウエの部分の①パートを吹く。
- ・階名唱をし、ソ＃やファ＃の運指を確認する。
- リコーダーや鍵盤ハーモニカなどでイウエの部分の②パートを演奏する。
- ・2声とも階名唱・運指唱をする。
 - ・鍵盤ハーモニカの場合は鍵盤の位置を確認する。
 - ・二つのグループに分かれ、上声部と下声部を分担して演奏する。
- 三つのグループに分かれ、イウエの部分①と②で合わせて演奏する。
- 「L-O-V-E」の主旋律を演奏し、他のパートの確認をする。
- ・①②パートのイウエを演奏する。
 - ・③、低音、打楽器パートを、教師の範奏で確認する。
 - ・ビブラフォンや木琴などの音を聴いて、音色を確認する。
- グループで合奏の練習をする。
- ・6～8人程度のグループに分かれ、パートの担当や楽器を決める。
 - ・グループごとに練習する。
- グループごとに中間発表をする。
- ・気付いた点や更に工夫したい点を伝え合う。
 - ・出された意見を基に、再度練習する。
- 発表会をする。

- ・①のパートの主旋律を追いながら、曲の進み方を確認させる。主旋律をハミングしながら聴かせてもよい。
 - ・スウィングのリズムを感じながら範奏を聴くようにさせる。
 - ・伸ばす音の音色に気を付けながら、リコーダーを吹かせる。
- 【共通事項】音色 呼びかけとこたえ 反復 音楽の縦と横の関係
- ・休符やリズムに気を付けながら旋律を覚えさせる。
 - ・伸ばす音の音色に気を付けさせる。
- 【共通事項】リズム
- ・聴き合いながら演奏する。
 - ・ピアノ伴奏に合わせて演奏し、リズムにのれるようにさせる。
- 【評】曲の特徴を生かした表現をする活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・ピアノに合わせ、全員で演奏する。
 - ・木琴やシンセサイザー、小太鼓、シンバルなど楽器を用意しておく。
 - ・「まなびリンク」の動画を活用してもよい。
- ・小太鼓やシンバルがグループの数用意できない場合は、手でリズムを打ちながら練習し、交代で使用する。
 - ・教師は③、低音、打楽器パートの練習をしている児童の所を巡回し、指導する。
 - ・③パートのシンコペーションのリズムが崩れないように注意させる。
 - ・強弱など、音のバランスに注意させる。
- 【評】曲の特徴を生かして演奏する活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。
- ・練習が不足していたり、拍やリズムにのることができなかつたりするなど、個々の課題を教師も確認し、再度グループ練習に戻ったときに支援する。
- 【評】各声部や全体の響きを聴き、音を合わせて演奏する活動を通して「技能」を評価する。

【 備 考 】